

樂美術館事業報告要旨

平成 23 年度

期間 2011年 4月 1日 (金) ～ 2012年 3月 31日

事業報告要旨

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して (詳細は別紙の通りである)

(1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 樂美術館コレクション 樂歴代とその周縁
長次郎・光悦・道入・樂歴代の代表作が一堂に!
- 2) 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ「樂ってなんだろう」
樂焼のルーツは、なんと! カラフルな中国の焼き物
- 3) 秋期特別展 樂と永樂そして仁清 京の陶家「侘と雅」の系譜
- 4) 新春展 京の粹 樂家初春のよそおい

(2) 手にふれる美術館活動 (講演解説を含む)

- 1) 手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会、親子でお茶一服、手にふれる展示

(3) 他機関との協力活動

- 1) 館外展示協力事業
- 2) 海外交流事業、他の美術館・博物館との協力事業
- 3) その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1) 長谷川等伯「松林架橋図襖絵」四面の修復を完成した。

3. 作品・資料収集に関して (作品リストは別紙の通りである)

- 1) 新規購入作品1口を基本財産に繰り入れた。
- 2) 2件の作品寄贈を受け、作品2口を基本財産に繰り入れた。

II 研究・資料図書公開事業

- 1) 歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。
- 2) 作品集「ちゃわんや」を刊行した。
- 3) 鉛釉の研究会を開催、産業技術センターで研究試験を行った。

III 学校・社会教育事業

- 1) 小・中・高等学校への協力活動として、『シリーズ「樂ってなんだろう」』展、「親子で見る樂茶碗鑑賞会」、「親子でお茶一服」を開催。
- 2) 研修授業・修学旅行学習への協力をした。
- 3) 小中学生対象の樂焼の歴史ワークシートを制作、配布した。
- 4) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力をした。

地域社会への文化協力、社会教育活動

- 1) 生涯学習など、社会教育事業への協力をした。
- 2) 地方文化団体の文化事業への協力をした。
- 3) 東北震災義援金として入館料の一部40万円を京都新聞社会事業財団に義捐寄付、福島県同門会市民講座講演料20万円を同市民報事業財団を通して義捐寄付した。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (1) 展覧会活動 (当館展示)

館展示事業

展示事業1 春期特別展 樂美術館コレクション 樂歴代とその周縁 2011年3月19日(土)～7月3日(日)

サブタイトル 長次郎・光悦・道入・樂歴代の代表作が一堂に！

樂歴代の代表作に加え、田中宗慶、尼焼比丘尼、本阿弥光悦、覚々斎、玉水焼初代一元など樂家周縁の作者の名品を含めて一堂に展観、樂焼の歴史を概観、歴代の作風を時代ごとに展示した。

展示事業2 親子で見る展覧会 シリーズ「樂ってなんだろう」 2011年7月9日(土)～8月28日(日)

サブタイトル 樂焼のルーツは、なんと！カラフルな中国の焼き物

樂焼のルーツを辿り、その特色をやさしく解説した展覧会。子供にも理解しやすい楽しい展示解説や、作品資料に手にふれて鑑賞するなど工夫を凝らして展示した。

展示事業3 秋期特別展 樂と永樂そして仁清 2011年9月4日(日)～12月23日(金・祝)

サブタイトル 京の陶家 「侘と雅」の系譜

侘びの樂家と雅の永樂家、両家の代表作と共に、京焼の原点、野々村仁清の代表的な作品を加えて展示した。

展示事業4 新春展 京の粹 2012年1月7日(土)～3月4日(日)

サブタイトル 樂家初春のよそおい

新春から立春・節分にかけて、華やいだ粋な樂家の歴代の作風を展観。特に樂家で毎年執り行われる正月飾りや伝統行事に焦点を合わせて展覧会を構成した。